

こんにちは

-No.37-

日本共産党 東村山市議会議員



山田たか子です

山田たか子事務所

TEL 395-4973

携帯090-5824-7597

<秋津事務所>

秋津町4-39-71

<青葉事務所>

青葉町2-28-6



東村山市へ

2021年度予算要求書を提出



コロナの影響を受けている市民のための予算編成を！

日本共産党市議団は、来年度の予算編成に向けた予算要求を提出しました。内容は次のとおりです(抜粋)

- ★PCR検査施設の整備・拡充。国都へ予算要望をすること。
- ★国保税の負担軽減を。
- ★認可保育園・児童クラブの増設を。
- ★小中学校の少人数学級早期実現のための取組を。
- ★交通不便地域解消を市と市民の協働で取組を。
- ★避難所となる公共施設の耐暑・防寒設備を設置すること。
- ★東村山駅前に核兵器廃絶平和都市宣言塔の復活を。等、あらゆる分野74項目。

わたしたちは

民主的な議会運営を求めています

東村山市9月定例会の議会報告ですが、共産党は動画報告に不参加の立場を表明しました。その理由は――

私たち日本共産党は、5人で1つの会派として活動していますが、中には1人の会派で活動する議員もいます。一人ひとは市民から選ばれた議員ですが、会派の人数により、様々な制限があります。例えば、1人の会派という理由から、議会運営に関わる大切な会議に参加できないといった事があげられます。

今回、新たに取組む動画報告に関しても、1人会派の議員が不参加の中で話がすすめられました。

これまで、私たちは改善するよう話し合いを求めてきたにもかかわらず、改善されません。それどころか、少数意見や1人会派を排除するような動きが目立ってきて、見過ごすことができないと考えたからです。

お互いを尊重し、話し合っすすめる本来の民主的な議会運営を求め、野党共闘を一層強めていきます。

活動報告・今後の日程

11月7日、28日

宮本徹と本音でトーク

東村山20区市民と野党の会のトークイベント。通りがかった方からも本音トーク。国民のための政治に変えたい！



次回12月19日 13時～  
久米川駅南口です

12月市議会日程

11月27日 定例会初日

12月1日～3日 一般質問  
(2日 山口・浅見)  
(3日 山田・渡辺・さとう)

7日 政策総務委員会

8日 生活文教委員会

9日 厚生委員会

10日 まちづくり環境委員会

11日 議員報酬・政務活動費調査特別委員会

18日 定例会最終日

1月11日 東村山を変える超党派議員連盟 議会報告会



お誘い合わせの上、お気軽にお越しください。

# 12月議会的一般質問

各議員が行う一般質問は、1人20分の質問時間の中で行います。市側の答弁は、その時間に含まれないため、答弁が長ければその分時間を要する事となります。

コロナ対策の一環として時間短縮のため、6月・9月に引き続き、今回も1人5分の質問時間の削減となりました。

そのため今回も1人15分です。私は、早口で質問していると、ますます焦ってしまう性格も重なり、言いたかったことを言い忘れてしまっ、悔しさが残る思いもしています。

コロナ禍だからこそ、私たちは市民の皆さんから切実な声をたくさん伺っています。質問時間が短いという事は、その声を届ける時間が短くなるという事です。日本共産党市議団は、20分の質問時間確保を求めましたが、応えてもらえませんでした。

私の一般質問は12月3日(木)午後内容は次の2点です。

- ★「子どもと保護者の不安にこえる相談体制の強化を」
- ★「コロナ禍における災害対応について」

12月も、コロナ感染予防対策として議場での傍聴ができません。隣室で14名定員のモニター視聴となります。

東村山市ホームページの市議会ページから、動画配信がご覧いただけます。



## 治安維持法犠牲者国家賠償 要求同盟と国会請願へ

戦前、政府に都合の悪い考えや運動を取り締まる治安維持法で弾圧を受けた犠牲者に、国が責任を認め、謝罪、国家賠償をおこなうよう、法律制定を要求する運動をすすめる団体です。11月13日、国会議員への署名提出に同行しました。

決して過去の話ではなく、今の政府に危うさを感じています。それは――

菅政権による日本学術会議の任命拒否問題。今なお理由説明もなく権力から排除される、国民全体に関わる問題が起きているからです。

日本共産党は戦前から「反戦平和」を訴え続け、治安維持法により、多くの日本共産党党員が捕らえられ、拷問・虐殺が行われました。民衆の幸せを願い、24歳の若さで亡くなった伊藤千代子さんもその1人。私が社会に問題意識を持ち始めた歳よりも若く、現在とは社会背景が全く異なる時代に、声をあげていたので。今、声をあげなければと、勇気づけられます。

千代子さんの生涯が、映画化される予定です。

## 減少する 東村山のみどり

「みどりの豊かさ」「自然とみどり」に魅かれて東村山に来たというお話を伺います。

ところが、緑地所有者の後継問題・維持管理問題等もあり、この30年を見ても、市内の農地やみどりは大きく減少傾向です。

市内の緑被率（樹林地・草地・農地でおおわれた土地面積の市域面積に対する割合）は――

1991年 38.1%  
1998年 34.7%  
2008年 31.8%

約107.53畝の減  
なんと、都立東村山  
中央公園約9個分

今、ココ! → 2019年 26.3%

これからの取組としては、みどりの保全と共に、みどりの創出も欠かせません。全生園・多摩北部医療センターのみどりの保全、水辺とみどり豊かな沢の堀を実現したいですね！

